

款10 教育費

項1 教育総務費

目1 教育委員会費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,922,000円	8,031,863円		890,137円

委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会を13回開催し、教育行政の基本方針、小・中学校、幼稚園の教育指導方針、重点施策及び条例規則の改正等30件の審議を行うとともに、諸事業の円滑な執行に努めました。

〔委員報酬〕	5,236,591円
・教育委員会 委員長1人 委員3人	
〔交際費〕	1,455,907円
〔学校永年勤続者表彰経費〕	156,975円
〔負担金〕	789,850円
・三重県市町村教育委員会連絡協議会	365,450円
・三重県都市教育長会	118,000円
・全国都市教育長会	30,000円
・三重県体育・スポーツ振興期成会等	276,400円
〔一般経費〕	392,540円

目2 事務局費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,224,481,000円	1,223,408,245円		1,072,755円

教育行政の円滑な運営を推進するため、職員の適正配置により公務能率の向上を図るとともに、職員の健康管理と執務環境の整備に努めました。

〔一般職給〕 76人	751,015,166円
〔嘱託職給〕 25人	69,231,420円
〔退職手当〕	366,147,755円
〔公務災害補償費〕	9,534円
〔事務局管理運営費〕	30,113,390円
・職員健康管理費	2,602,468円
・職員研修費	1,478,680円
・一般経費	26,032,242円
〔教育施設警備費〕	5,659,500円
小・中学校61校（旧納屋小学校を含む）と少年自然の家・中央緑地・霞ヶ浦緑地の夜間巡回警備を委託しました。	
〔教職員住宅経費〕	1,231,480円（その他特財 1,231,480円）
・維持管理費（西松本町、あかつき台四丁目）	

目3 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
530,302,000円	516,131,713円		14,170,287円

本市の学校教育指導方針、努力目標を達成するために各種の事業を行い、学校教育の充実に努めるとともに、育英事業、私立学校等の振興にも努めました。

〔奨学資金〕	11,289,711円
四日市市奨学資金貸与規則に基づき、高校生17人、大学生85人、専修学校専門課程学生4人の計106	

人に奨学資金の支給を行いました。(支給額 25,108,000円)		
[私立学校等振興助成費]	37,639,740円	
・私立学校等運営費補助金	10,897,200円	
・私立幼稚園運営費補助金	10,895,640円	
・私立幼稚園教員研修費補助金	1,799,300円	
・私立幼稚園協会運営費補助金	90,000円	
・私立幼稚園保育料補助金	13,627,600円	
・私塾教育振興助成費	330,000円	
[四日市大学新学部設置費補助金]	350,000,000円	
平成9年度開設の環境情報学部設置補助(平成7~12年度債務負担事業、総額15億円)		
[委員報酬]	243,900円	
・心身障害児就学指導委員会委員 4人		
[児童生徒指導事業費]	39,075,903円	
・教育相談事業費	910,000円	
3人の教育相談員の他に2人のスクールカウンセラーを山手・内部中学校へ配置		
・学校安全教育推進事業費	220,000円	
学校安全教育の推進を図るため、研修会を開催。学校安全推進校4校を指定		
・障害児教育推進事業費	386,030円	
障害児教育の啓発や推進を図るため、説明会や実践交流会を開催。障害児教育推進校3校を指定		
・環境教育推進事業費	1,541,775円 (県支出金 150,000円)	
野性生物保護モデル校として2校を指定するとともに、環境教育学習資料を配布		
・国際理解教育推進事業費	9,555,096円 (その他特財 960,000円)	
中学生海外使節派遣として市内公立中学2年生をロングビーチ市へ派遣。国際理解推進校6校を指定		
・児童生徒指導対策事業費	10,217,755円	
児童・生徒の問題行動に対応するため、各小中学校において、校外補導、夜間の家庭訪問、対策会議等を実施		
・帰国・来日外国人児童生徒教育充実事業費	4,877,397円	
ブラジルから適応指導員1人を招致し、主に受け入れ拠点校(中央小、橋北中)において学習指導の補助や日本語の指導、悩み事の相談を担当		
・文化部活動奨励費補助金	371,850円	
朝明中学校吹奏楽部が、東海地区アンサンブルコンテストに出場した奨励補助金		
・スクールカウンセラー活用調査研究委託事業費	2,212,000円 (国庫支出金 2,212,000円)	
文部省の調査研究委託を受け、児童・生徒の臨床心理に関する専門的な知識を有するスクールカウンセラーの活用に関する調査研究を実施(西朝明中)		
・心の教室相談員活用調査研究委託事業費	8,784,000円 (国庫支出金 8,784,000円)	
文部省の調査研究委託を受け、生徒が悩み等を気軽に話すことのできる心の教室相談員を配置し、その活用と効果に関する調査研究を実施		
[幼稚園子育て支援調査研究委託事業費]	1,382,000円 (国庫支出金 1,382,000円)	
文部省の調査研究委託を受け、幼稚園における子育て支援活動の在り方について調査研究を実施しました。		
[心の教育推進地域指定事業費]	394,000円 (県支出金 394,000円)	
[特色ある学校教育推進プロジェクト事業費]	800,000円 (県支出金 800,000円)	
[教職員研修費]	4,314,830円 (県支出金 33,000円)	
生徒指導担当者、研修担当者、障害児保育担当者等の資質を高めるために講演会等を開催しました。		
[英語指導員経費]	36,033,483円	
姉妹都市ロングビーチ市から英語指導員7人を招致し、県教育委員会から英語指導助手1人の派遣を受けて、中学校英語教育の一層の充実向上と、小中学校の国際理解教育を推進しました。		
[負担金]	3,953,680円	
・三泗教育発表振興会	2,577,300円	
三泗地区の小中学校の児童生徒の教育成果を発表		
・三重県乳幼児教育センター	1,101,000円	
県下の乳幼児教育・保育振興の中核機関としての幼児教育センターへの運営費の負担金		
・三重県特殊教育振興会等	275,380円	
[教職員研修費]	269,780円	
多様化する教育現場の課題解決、管理職の学校管理運営能力の向上を図るため、公立の小中学校長、教頭を対象とした研修をそれぞれ開催しました。		

〔保健給食費〕	1,387,210円
・保健給食研修費	303,027円
学校保健会やプール講習会を開催するとともに、全国学校保健会に3人（うち職員1人）を派遣	
・環境衛生検査室管理費	544,183円
学校における環境衛生を維持するため、本町プラザ内に設置している環境衛生検査室の備品充実	
・四日市学校保健会補助金	540,000円
学校の保健衛生・安全教育を振興	
〔科学教育振興費〕	750,000円（その他特財 227,884円）
・小菅科学教育振興事業費	
子ども科学教室（15回、延べ388人）の開催や科学教育奨励賞（5グループ）の授与及び科学教育奨励委託事業（3団体）等を実施	
・小菅科学教育振興基金（昭和39年3月設置 本年度末現在高 29,064,697円）	
〔学校同和教育事業費〕	21,004,667円
・人権教育推進事業費	3,020,000円
各校園での同和教育の推進を図るため、人権教育推進校委託等各種委託事業を実施	
・指導体制充実事業費	7,664,667円
教職員の資質向上を図るため、全国同和教育研究大会等各種研修会への派遣委託を実施（延べ347人）	
・奨学資金	5,880,000円
四日市市同和奨学資金給付要綱に基づき、高校生37人、大学生13人に支給	
・入学支度金	1,240,000円
四日市市同和奨学資金給付要綱に基づき、平成11年度の新入学（園）者52人に支給	
・四日市同和教育研究会運営費補助金	3,200,000円
〔一般経費〕	7,592,809円

〔成果〕

多様な教育課題に対応するため、各種の事業を実施しました。なかでも、英語指導員招致事業では、中学校の英語教育の充実に加え、小・中学校での国際理解教育の推進に役立ちました。また、私立学校等への運営費補助なども継続して実施し、私学振興に寄与しました。

目4 教育・視聴覚センター費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
177,189,000円	141,427,554円		35,761,446円

新しい教育課題への研究と学校への支援事業を行うため、教育実践に役立つ幅広い研修や教育相談等各種事業を実施しました。また、教育情報機器等の更新を行い、情報教育推進に努めました。

- 〔教育センター嘱託研究事業費〕 378,000円
 教育センター職員の研究協力員は課題研究を、市内小中学校教職員から応募のあった14の個人やグループは、今日的な教育課題の実践的研究を、それぞれ行いました。
- 〔教育センター事業費〕 17,939,737円
- ・教職員研修費 9,841,419円（県支出金 50,000円）
 学習指導、生徒指導、同和教育、情報教育等を教育課題とした85講座（延べ131日）の教職員研修会には、延べ4,731人の参加。また、幼稚園グループ研修会（17回、223人）や先進校園への派遣研修（24人）を行い、それらの報告書を発行
 さらに嘱託研究校園委託事業として7小中学校園各校園の教育課題の研究を行い、特色ある校園づくりへの取り組み
 - ・教育相談事業費 4,110,147円
 心身の発達や行動等に課題をもつ子どもの保護者や校園の要請に応じ相談活動を実施

新規相談件数	相談延回数	訪問相談件数
144	1,908	12

- ・教材開発普及費 654,300円
 教材ビデオとして①小学校社会科「運輸業～便利な生活を支える人々」、②国際理解教育「ザンビアの生徒たち」③生涯学習「開港100年によせて」のビデオ教材を制作し各小中学校へ配布

・教育課題等研究調査費 3,333,871円

国立教育研究所研究部長の指導のもと「総合的な学習の時間」に向けた単元開発に関する研究等6課題の教育課題研究に取組み、研究成果を関係機関に配布
〔教育情報通信システム運営費〕 105,364,244円 { 県支出金 8,504,000円 }
 { その他特財 1,500,000円 }

教育センターや小中学校職員室及び中学校教育用コンピュータを更新するなど、教育情報通信システムを再構築しました。

また、インターネットを羽津・常磐中学校で試行開始しました。
〔視聴覚ライブラリー事業費〕 4,961,408円 (その他特財 1,540,000円)

生涯学習や学校教育の効果的な学習を支援するため、ビデオフィルムや16ミリフィルム等の視聴覚機器の整備を行いました。

	保有数		利用状況			
	購入数	保有総数	学校教育	社会教育	その他	計
16ミリフィルム	4	1,189	211	124	35	370
ビデオフィルム	81	812	312	235	148	695

	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	2	28	93
ビデオプロジェクター	2	108	363
スライド映写機	2	20	59

〔視聴覚センター事業費〕 1,621,233円 (県支出金 445,000円)

生涯学習施設としてビデオやパソコンを活用した教室、講座等を開催しました。

〔適応指導教室事業費〕 6,137,041円 (その他特財 424,424円)

不登校児童生徒の社会性や協調性を養い、集団適応能力を高め学校復帰をめざして体験活動、制作活動及び学習を行いました。

開級日数	通級生数	復帰	進学	再相談	再入級	その他
202日	34人	15人	8人	4人	5人	2人

〔負担金〕 1,183,500円

・三泗教育研究協議会 1,100,000円

・全国教育研究所連盟等 83,500円

〔一般経費〕 3,842,391円 (その他特財 1,547,700円)

〔成果〕

新しい教育課題としての「総合的な学習の時間」に係わる研究や、不登校児童生徒に対応するための教育相談講座を新設するなど時代に即応した研究、研修の取組みにより、学校への支援体制の充実と教職員の資質向上に寄与しました。

また、小中学校のコンピュータのマルチメディア化を図るとともに、インターネットの試行も始めるなど、新しい情報化社会に対応するための教育機器の充実を図りました。

さらに、不登校児童生徒のための適応指導教室の相談室を増設し、これと合わせて三重郡四町の不登校児童生徒の受け入れを始めるなど、広域教育行政の充実に寄与しました。

項 2 小学校費
目 1 学校管理費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
2,102,516,000円	2,069,264,295円		33,251,705円

本市の小学校は39校で、学級数は 627学級（うち障害児学級52学級）、児童数18,322人（うち障害児学級 124人）であり、前年度に比べて学級数で1学級の減（うち障害児学級は2学級増）、児童数で248人の減となり、障害児学級を除いて1校平均14.7学級、1学級平均31.6人となっています。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理に努めました。

〔一般職給〕	122人	987,095,468円	
〔非常勤職員報酬〕		44,973,420円	
・校医	44人	23,319,740円	
・歯科医	44人	17,873,680円	
・薬剤師	39人	3,780,000円	
〔学校管理運営費〕		446,935,421円	
・修学旅行引率事業費補助金		780,300円	
			分散学習の実施など多様化する修学旅行を安全に実施するため、引率に対して補助
・一般管理運営費		446,155,121円	
〔学校保健衛生管理費〕		57,808,603円	
・児童健康診断費		41,705,245円	
			学校保健法に基づき、心臓・検便・検尿等児童の定期健康診断や就学時の内科・歯科検診を実施したほか、健康増進事業の一つとして眼科・耳鼻科の専門医検診を実施
・教職員健康診断費		10,568,254円	
			学校保健法に基づき、教職員の健康管理を維持するため、胃検診・結核間接・血液検査・B型肝炎等の諸検査を実施
・一般管理運営費		5,535,104円	
〔学校給食管理運営費〕		54,675,108円	
・四日市市学校給食協会補助金		5,900,000円	
			学校給食物資の安定供給とともに、保護者負担の軽減をはかるため設立された同協会に対し補助金を交付
・給食従事者健康診断費		2,360,085円	
			集団給食の衛生面での安全を図り、併せて給食従事者の健康管理を図るため、O-157対策を含めた検便を実施
・一般管理運営費		46,415,023円	
〔学校管理備品整備費〕		65,491,735円	
			浜田小学校の改築を中心に既存校の備品の整備・更新の充実、また、食器消毒保管庫を全小学校に増強するなど、食中毒予防強化を図りました。
・一般備品		27,263,012円	
			うち浜田小改築備品
		10,095,446円	
・一般保健室備品		2,043,120円	
			うち浜田小改築備品
		460,170円	
・一般給食備品		36,185,603円	
			うちO-157関係
		19,846,890円	
			（食器消毒保管庫を含む）
			うち浜田小改築備品（給食室）
		4,229,820円	
			うち浜田小改築備品（ランチルーム）
		1,622,964円	
〔負担金〕		18,066,274円	
・学校災害賠償補償保険料		1,329,798円	
・日本体育学校健康センター共済掛金		13,355,016円	（その他特財 6,248,880円）
・三重県学校保健会		274,830円	
・全国連合小学校長会等		3,106,630円	
〔学校管理運営費〕		394,218,266円	
・一般管理運営費		17,329,605円	
			学校用地借地料
・施設維持管理費		87,264,054円	（その他特財 561,802円）
・施設補修費		289,624,607円	

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
289,765,000円	281,113,517円		8,651,483円

豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための基礎となる力を培うために、一人一人の児童に応じた各種事業に取組みました。また、教育課程の充実、生活指導の強化など、学校教育の努力目標を達成するため、各小学校の教授用諸経費並びに教材教具の整備充実に努めました。

〔学校体育振興事業費〕 331,820円

学校体育を振興して児童の体力向上及び運動に親しむ態度を育成するため、小学校陸上記録会、みんなでチャレンジ、学校体育研修会を開催するとともに学校体育推進協力校1校を指定しました。

〔自然教室事業費〕 9,489,757円

市内小学校5年生を対象に実施

実施場所	実施校	参加人数	実施日数
四日市市少年自然の家	38校	2,984人	1泊2日
国立曽爾少年自然の家	1校	114人	3泊4日

〔教材・教具整備費〕 64,192,202円

- ・一般教材・教具 55,767,822円
- ・理科教育振興備品 8,424,380円 (国庫支出金 3,969,000円)

〔教育方法開発特別設備費〕 3,499,650円

- ・AV調整卓(河原田小)

〔障害児学級費〕 41,629,756円

- ・児童介助費 39,999,306円

多動性の情緒障害児及び肢体不自由児をもつ障害児学級に介助員(23校36人)を配置し、教育効果をあげました。

- ・一般教材備品費 1,630,450円 (国庫支出金 794,619円)

既存の障害児学級の一般備品及び障害児学級の新增設に伴う備品

〔就学奨励費〕 64,402,086円

- ・要保護準要保護児童就学援助費 61,224,123円 (国庫支出金 23,723,601円)

経済的理由により義務教育が受けられない就学困難な児童に対して、学用品・入学準備金・給食費・通学費等を援助

- ・障害児教育就学奨励費 3,177,963円 (国庫支出金 1,401,637円)

教育の機会均等の趣旨にのっとり、かつ障害児学級への就学の特殊事情を鑑み、保護者等の経済的負担を軽減するため、その必要経費の一部を補助

〔学校図書館図書整備事業費〕 30,828,883円

〔学校同和教育事業費〕 2,787,795円

- ・人権教育推進事業費 1,490,600円

人権学習用副読本「なかま」購入

- ・特別就学奨励費 1,297,195円

同和地区児童の就学を奨励することを目的とし、児童71人に学用品、通学用品費、修学旅行費、校外活動費を支給

〔一般経費〕 63,951,568円

〔成果〕

自然教室事業では、日頃の学校生活では得がたい児童同士の交流や、自然とのふれあいを通して貴重な体験を積むことができました。また、教材・教具などの整備により、さらなる学習環境の充実に努めました。

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,156,869,000円	1,156,682,503円		186,497円

本年度の重点施策として老朽校舎の改築を進めるとともに、給食室改修、プール整備などの諸事業を行いました。また、新たに既設校舎の耐震診断調査やバリアフリー化事業に取り組みました。

〔校舎建設事業費〕 1,024,184,900円

・浜田小学校改築事業費

事業内容	実施額	うち特定財源	
鉄筋コンクリート造4階建 5,928㎡、普通教室20室、特別教室5室、管理諸室、給食室、ランチルーム、工事監理委託（平成9・10年度債務負担事業） 仮設校舎リース（平成8～10年度債務負担事業） 外構、既設校舎改修（コミュニティホール、音楽室） 電波障害負担金、公園整備	996,899,600	国庫支出金 市 債	268,229,000 394,200,000

・中部西小学校改築事業費

事業内容	実施額	うち特定財源	
設計業務、地質調査業務、試掘調査業務	27,285,300		

〔施設整備事業費〕 94,563,840円

・バリアフリー化施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
障害者用トイレ設置、便器改修（和式→洋式）、廊下・階段手摺設置、シャワーコーナー設置、出入口スロープ設置 外	四郷小学校 常磐小学校 神前小学校	22,575,000		

・給食室改修費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
設計業務、間仕切設置・改修、調理室棚・壁改修、換気扇取付・取替、保管庫電源改修 外	大矢知興譲小学校 海蔵小学校 外	18,655,560	国庫支出金	1,640,000

・その他施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
プール整備、職員便所改修、シャワー室設置 外	三浜小学校 外	53,333,280		

〔校舎等譲受費〕 23,759,320円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
昭和54～平成16年度債務負担事業	笹川東小学校	2,962,900		
昭和58～平成20年度債務負担事業	笹川西小学校	20,796,420		

〔校舎耐力度調査費〕

2,310,000円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源
耐震診断調査費 教室棟・管理棟	常磐小学校 下野小学校 三重西小学校	2,310,000	

〔事業事務費〕

11,864,443円

・一般職給 1人

7,649,000円

・その他事務費

4,215,443円

〔成果〕

平成8年度からの浜田小学校改築事業が完成し、引き続き中部西小学校改築に向けての設計等の業務委託を行うとともに、常磐小学校などで耐震診断調査を実施し、学習環境の向上と安全性の確保に努めました。

また、学校給食環境整備のため海蔵小学校などで給食室改修工事を行い、調理場の衛生管理強化を図るとともに、円滑な学校生活のため神前小学校などでバリアフリー化工事を実施し、障害者と健常者が共に学べる環境整備を進めました。

項3 中学校費

目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
693,747,000円	677,756,636円		15,990,364円

本市の中学校は21校で、学級数は287学級（うち障害児学級21学級）、生徒数9,398人（うち障害児学級45人）であり、前年度に比べて学級数で4学級の増（うち障害児学級が4学級増）、生徒数で111人の減となり、障害児学級を除いて1校平均12.7学級、1学級平均35.2人となっています。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理に努めました。

〔一般職給〕 21人

165,901,536円

〔非常勤職員報酬〕

23,259,780円

・校医 24人

11,648,660円

・歯科医 24人

9,487,120円

・薬剤師 21人

2,124,000円

〔学校管理運営費〕

199,914,990円

・修学旅行引率事業費補助金

3,645,000円

分散学習の実施など多様化する修学旅行を安全に実施するため、引率に対して補助

・一般管理運営費

196,269,990円

〔学校保健衛生管理費〕

29,667,220円

・生徒健康診断費

21,412,440円

学校保健法に基づき、心臓・検便・検尿等生徒の定期健康診断を実施したほか、健康増進事業の一つとして、眼科・耳鼻科の専門医検診を実施

・教職員健康診断費

5,997,043円

学校保健法に基づき、教職員の健康管理を維持するため、胃検診・結核間接・血液検査・B型肝炎等の諸検査を実施

・一般管理運営費

2,257,737円

〔学校給食管理運営費〕

1,850円

〔学校管理備品整備費〕

16,914,370円

・一般備品

16,121,725円

うち心の教室備品（大池・三重平中）

1,066,646円

・一般保健室備品

792,645円

〔負担金〕

9,181,853円

・学校災害賠償補償保険料

680,939円

・日本体育学校健康センター共済掛金	6,892,044円	(その他特財 3,208,680円)
・三重県学校保健会	140,970円	
・全日本中学校長会等	1,467,900円	
[学校管理運営費]	232,915,037円	
・一般管理運営費	11,200,051円	
学校用地借地料		
・施設維持管理費	45,148,129円	(その他特財 125,982円)
・施設補修費	176,566,857円	

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
202,319,000円	191,305,572円		11,013,428円

豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための基礎となる力を培うために、一人一人の生徒に応じた各種事業に取り組みました。また、教育課程の充実、生活指導の強化など、学校教育の努力目標を達成するため、各中学校の教授用諸経費並びに教材教具の整備充実に努めました。

[障害児学級費] 350,445円
 ・連合合宿費

[自然教室事業費] 12,622,183円
 市内中学校2年生を対象に実施

実施場所	実施校	参加人数	実施日数
四日市市少年自然の家	14校	1,668人	2泊3日
鈴鹿青少年センター	2校	467人	2泊3日
国立乗鞍青年自然の家	4校	638人	3泊4日
国立立山少年自然の家	1校	205人	3泊4日

[中学生サミット推進事業費] 875,010円 (県支出金 606,000円)
 生徒会活動の活性化と生徒会リーダー育成をねらいとして、市内中学校21校から生徒4人と生徒会顧問1人を参加させ、研修会を開催しました。

[教材・教具整備費] 44,137,945円
 ・一般教材・教具 38,936,505円
 ・理科教育振興備品 5,201,440円 (国庫支出金 2,435,000円)

[障害児学級費] 8,388,542円
 ・生徒介助費 6,996,598円
 多動性の情緒障害児及び肢体不自由児をもつ障害児学級に介助員(4校6人)を配置し、教育効果をあげました。

・一般教材備品費 1,391,944円 (国庫支出金 678,381円)
 既存の障害児学級の一般備品及び障害児学級の新増設にともなう備品

[部活動指導委託費] 5,132,000円
 学校管理下における教育課程外の教育活動である部活動(文化部・体育部)を円滑かつ積極的に推進するため、指導委託を行いました。

[就学奨励費] 27,873,347円
 ・要保護準要保護生徒就学援助費 26,058,478円 (国庫支出金 10,838,399円)
 経済的理由により義務教育が受けられない就学困難な生徒に対して、学用品・入学準備金・給食費・通学費等を援助
 ・障害児教育就学奨励費 1,814,869円 (国庫支出金 795,363円)
 教育の機会均等の趣旨にのっとり、かつ障害児学級への就学の特殊事情を鑑み、保護者等の経済的負担を軽減するため、その必要経費の一部を補助

[学校図書館図書整備事業費] 19,002,447円

[学校同和教育事業費] 1,329,227円

・特別就学奨励費
 同和地区生徒の就学を奨励することを目的とし、生徒33人に学用品、通学用品費、修学旅行費、校外活動費を支給

〔一般経費〕

71,594,426円

〔成 果〕

自然教室事業では、日頃の学校生活では得がたい生徒同士の交流や、自然とのふれあいを通して貴重な体験を積むことができました。また、中学生サミット推進事業では、いろいろな学校の実践を参考にし、生徒会活動の活性化に役立ちました。また、教材・教具などの整備により、さらなる学習環境の充実を図りました。

目 3 学校建設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
202,382,000円	202,367,090円		14,910円

本年度の重点施策として体育施設（武道場）の新築を行うとともに、余裕教室を活用し木の交流施設（心の教室）整備事業を行いました。また、新たに既設校舎の耐震診断調査やバリアフリー化事業に取組みました。

〔武道場建設事業費〕

107,535,435円

・橋北中学校武道場新築事業費

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
本 体 鉄骨造平家建 373.4m ² 渡り廊下 鉄骨造平家建 47.4m ² 外構、解体	107,535,435	国庫支出金 市 債	15,864,000 58,900,000

〔施設整備事業費〕

67,541,197円

・バリアフリー化施設整備費

事 業 内 容	施 工 箇 所	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
障害者用トイレ設置、階段手摺設置、シャワーコーナー設置、車寄せ設置、出入口スロープ設置 外	山手中学校 常磐中学校	22,215,133		

・その他施設整備費

事 業 内 容	施 工 箇 所	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
心の教室整備事業 普通教室改修（カウンセリング室、相談室）	大池中学校 三重平中学校	12,459,300	国庫支出金	3,990,000
その他施設整備 テニスコート整備、職員用シャワー室設置、昇降口改修整備 外	桜中学校 富田中学校 外	32,866,764		
計		45,326,064		3,990,000

〔校舎等譲受費〕

14,324,640円

事 業 内 容	施 工 箇 所	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
昭和49～平成21年度債務負担事業	西笹川中学校	14,324,640		

〔校舎耐力度調査費〕

2,509,500円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源
耐震診断調査費 教室棟・管理棟	常磐中学校 大池中学校 笹川中学校	2,509,500	

〔事業事務費〕

10,456,318円

・一般職給 1人

8,067,000円

・その他事務費

2,389,318円

〔成果〕

生徒の体力向上を図るため橋北中学校で武道場を新築するとともに、大池中学校などで心の教室整備事業によりカウンセリング室等を設置し、温かみと潤いのある環境づくりに努めました。

また、安全性を高めるための取組みとして、常磐中学校などで耐震診断調査を実施するとともに、円滑な学校生活のため山手中学校などでバリアフリー化工事を実施し、障害者と健常者が共に学べる環境整備を進めました。

項4 幼稚園費

目1 幼稚園費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,024,225,000円	1,015,986,851円		8,238,149円

本市の幼稚園は22園で、学級数は61学級、園児数 1,494人であり、前年度に比べ学級数で増減はなく、園児数で42人の増となり、1園平均 2.8学級、1学級平均24.5人となっています。なお、文部省の「幼稚園教育振興計画要項」に基づき、公立幼稚園における3歳児保育の基礎的・基本的条件を把握するため、下野幼稚園（1学級26人）で3歳児保育を試行しました。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理・整備に努めました。

なお、幼稚園使用料 122,723,400円を本年度収入しました。

〔非常勤職員報酬〕

12,790,340円

・園医 22人

5,906,980円

・歯科医 22人

5,563,360円

・薬剤師 22人

1,320,000円

〔一般職給〕 80人

602,380,382円

〔嘱託職給〕 38人

137,272,272円

〔私立幼稚園就園奨励費補助金〕

117,943,056円（国庫支出金 38,078,000円）

私立幼稚園に就園する園児の保護者に対して次の区分により保育料の補助を行いました。

補助対象者 2,027人

平成10年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	131,500円	69人
所得割非課税世帯	100,000円	66人
所得割課税の額が 10,600円以下の世帯	77,200円	75人
所得割非課税世帯 120,600円以下の世帯	54,300円	1,817人

〔園管理運営費〕	78,283,935円	(国庫支出金	99,000円)
・一般管理運営費			
〔園保健衛生管理費〕	884,211円		
・園児健康診断費	606,015円		
学校保健法に基づき内科・歯科の健康診断を実施			
・一般管理運営費	278,196円		
〔園管理備品整備費〕	5,160,508円		
幼稚園の保育用教材及び教具の充実を図るとともに、乾式コピーを買い換えました。(5園分)			
〔教材・教具整備費〕	2,927,938円		
〔教育振興一般経費〕	9,699,373円		
幼稚園の教育の振興を図るため、卒園記念品・保育用消耗品を購入しました。			
〔幼稚園研究大会運営経費〕	248,700円		
三重県教育委員会研究推進園研究発表会を海蔵幼稚園を会場に、平成10年11月17日(火)に開催しました。参加人数295人。			
〔負担金〕	786,643円		
・学校災害賠償補償保険料	104,193円		
・日本体育学校健康センター共済掛金	389,220円	(その他特財	179,640円)
・全国国公立幼稚園長会等	293,230円		
〔園管理運営費〕	30,443,874円		
・一般管理運営費	62,430円		
幼稚園用地借地料			
・施設維持管理費	7,107,069円	(その他特財	50,100円)
・施設補修費	23,274,375円		
〔施設整備事業費〕	15,601,083円		
・園舎等整備費			

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
園舎ホール改修、テラス設置・改修、屋根塗装	三重幼稚園 外	7,129,500		

・その他施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
職員室用空調設備、ゴミ置場設置外	橋北幼稚園 外	8,471,583		

〔園舎等譲受費〕 286,620円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
昭和54～平成11年度債務負担事業	笹川中央幼稚園	286,620		

〔学校同和教育事業費〕 1,277,916円

・指導体制充実事業費

幼稚園教員の資質向上を図るため、三重県解放保育研究集会等各種研修会へ延べ110人参加しました。

〔成果〕

教材・教具及び管理備品の整備により、さらなる学習環境の充実を図りました。また、園舎等施設の維持管理上必要な補修工事等を行い、施設の安全性、機能性の維持を図る環境整備を進めました。

項 5 社会教育費
目 1 社会教育総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,279,426,000円	1,227,724,495円		51,701,505円

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、現代的な視点も踏まえ、市民大学を一般クラスと熟年クラスに分け、市民の生涯学習の場として充実を図っています。また、市民の学習活動の場の整備に努めるとともに、社会教育関係団体の活性化と指導者の育成に努めました。

〔非常勤職員報酬〕	28,528,500円	
・社会教育（地域社会づくり）指導員 16人		
〔一般職給〕	85人 862,311,550円	
〔嘱託職給〕	29人 111,971,248円	
〔委員報酬〕	323,700円	
・社会教育委員 12人		
〔社会教育指導者研修費〕	1,082,030円	
地域社会づくり担当主任、主事 課題別視察等研修		
〔生涯学習振興事業費〕	10,369,049円	
・市民大学経費	10,201,574円	〔 国庫支出金 2,676,000円 その他特財 3,666,500円 〕

一般クラス	講 座 内 容	回数	受講者数	期間・場所
A	「あなたのための博学ゼミナール」	8	162	10.7.23 ~ 10.12.11 市文化会館
B	「子育てを変える」	6	85	
C	「仕事に役立つカウンセリング 基礎講座」	10	48	
D	「人間関係学入門」	10	47	
E	「論理を鍛えるディベート 実戦入門」	10	37	
F	「生きること」	5	155	
G	「インターネット入門」	4	80	

閉講式 講師 妹尾河童 作家

熟年クラス	講 座 内 容	回数	受講者数	期間・場所
教養課程	郷土、健康、人権等に関する講義、クラブ活動、社会見学、文化祭等	28	132	10.6.2 ~ 11.2.25 市総合会館・中部C
専攻課程	生き方、古典文学・芸能、人権、ボランティア等に関する講義、クラブ活動、社会見学、文化祭等	28	119	

入学式 講師 丹下 進 人形劇団丹下進オフィス

修了式 講師 早川一光 総合人間研究所

・生涯学習推進事業費	167,475円
生涯学習ガイドブック（地区市民センター事業実践事例集）	
〔なや学習センター整備事業費〕	51,014,796円
自主学習グループ・サークル、市民活動団体に活動の場として整備	
〔成人の日行事開催費〕	5,553,662円
新成人約3800人を対象に、平成11年1月15日四日市ドームで、新成人実行委員会企画による「記念式典」並びにアトラクションとしてZ I P F MのD Jによるトークショーを、また勤労者青少年ホーム利用者連絡協議会メンバーの企画による「琴演奏」、「お茶席」、「写真撮影」を行いました。	
〔文化講演会〕	5,003,142円（その他特財 5,000,000円）
三昌物産(株)より本市へ贈られた寄付金を活用して、3回にわたり「とてもビックな講演会」を実施し、総入場者数は3,730人に達しました。	
〔各種団体活動費〕	587,000円
・四日市市PTA連絡協議会運営費等補助金	357,000円
・四日市市婦人会連絡協議会運営費等補助金	230,000円

〔青年海外派遣事業費補助金〕	320,000円
近畿2府7県の主催する近畿青年洋上大学に本市在住・在勤の青年を派遣	
〔負担金〕	631,370円
・三重県社会教育関係団体指導者賠償責任保険料	571,370円
・三重県社会教育委員連絡協議会等	60,000円

〔成 果〕

市民大学は市民の多様な学習要求に応えるとともに、社会的課題の解決に向けて学習機会を提供しています。本年度一般クラスは、「あなたのための博学ゼミナール」「人間関係学」「インターネット入門」への応募が定員の1.5倍を超える盛況ぶりとなりました。「人権学習 生きること」への参加者も多く、20代から80代までの幅広い年齢層に人権問題への理解を深めることができました。

熟年クラスについても教養課程120人の定員に対して181人の応募があり、高年齢の生涯学習への関心の高さを示しています。教養を高めるとともに、クラブ活動などをもとに地域での活動を広げるなど社会参加も図っています。

〔委員報酬〕	207,500円
・文化財保護審議会委員 14人	
〔文化財維持管理事業費〕	5,025,255円
〔埋蔵文化財保護事業費〕	13,451,669円
・埋蔵文化財保護事業費	5,151,669円
開発行為に伴う遺跡の発掘調査（分布・立ち会い・試掘計26箇所）及び資料の復元作業 8/13～9/1 発掘展開催（博物館、観覧者3,327人）	
・埋蔵文化財発掘調査事業費	8,300,000円
	〔 国庫支出金 726,000円 県支出金 242,000円 其他特財 6,848,000円 〕

西村町上条地区のほ場整備事業にあわせて、同町所在の公事出遺跡を発掘調査
9月に現地説明会開催（80人参加）

〔埋蔵文化財発掘調査受託事業費〕	45,629,502円
・一般職給 2人	12,555,006円（其他特財 12,555,006円）
・発掘調査費	29,185,496円（其他特財 29,185,496円）
平成8年度から13年度まで、建設省の受託事業として国道1号線北勢バイパス建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査（山奥遺跡発掘調査・四方天遺跡試掘調査・四反田遺跡試掘調査・久留部遺跡試掘調査）なお、山奥遺跡については12月に現地説明会開催（150人参加）	
・埋蔵文化財民間開発調査委託事業	3,889,000円（其他特財 3,889,000円）
中部電力南四日市変電所の建設工事にともない、貝家町字山川の山川遺跡を発掘調査	
〔文化財保存対策事業費〕	14,079,454円
・御池沼沢植物群落保存対策調査事業費	135,222円
御池沼沢植物群落の今後の保存管理を検討するために専門家による委員会を開催し、「指定地の現状と今後の維持管理について」を作成	
・旧四郷出張所整備事業費	8,898,750円（平成10年度入館者数 1,399人）
旧四郷出張所（市指定有形文化財）保存整備工事を前年度に引き続き実施	
・指定文化財保存事業費補助金等	2,545,954円
・指定文化財記録保存事業費	2,499,528円（県支出金 1,249,000円）
平成9年度から2カ年で実施している「県指定有形民俗文化財大入道山車」の記録保存のために報告書を作成（300部）	

〔成 果〕

市民にかけがいのない文化遺産の保護を図るために、埋蔵文化財の保護については、開発行為にともなう発掘調査に適切に対応し、その一端を紹介するために「発掘展」を開催しました。その他文化財についても適切な整備修復と維持管理に努めるとともに、指定文化財の報告書を作成しました。

〔社会同和教育事業費〕	44,792,479円
市民的権利・自由の侵害である部落差別の解消のため、教育・啓発事業を行いました。「同和問題連続講座」を開催し、啓発リーダー養成に努めました。また、教育集会所活動においては、同和地区住民の社会的・経済的・文化的向上に資するため、各種講座や生活指導・学習指導・相談事業を行いました。	
・啓発活動事業費	13,194,467円

一般啓発事業	7,970,867円	(県支出金 5,797,000円)
同和教育資料の作成、世界人権宣言50周年公演会の開催及び同和問題連続講座の開催、企業内啓発等		
住民組織啓発事業	5,223,600円	
22地区同和教育推進協議会に対して同和教育推進業務の委託		
・学習活動促進事業費	7,578,876円	(県支出金 2,495,000円)
市民会館、教育集会所における各種教養講座の開設、神前柔道教室、天白卓球教室、高齢者いきいき講座の運営委託		
・住民学習施設整備事業費	2,844,860円	
天白児童集会所空調設備改修等		
・指導体制充実事業費	3,994,276円	
職員の外部研修(三重県同和教育研究大会等研修に延べ 218人参加)、図書、啓発ビデオの購入により指導体制の充実に努めました。		
・進路保障事業費	17,180,000円	
生活指導事業	6,854,000円	(県支出金 1,600,000円)
家庭訪問等校外における生活指導		
学習指導事業	9,243,000円	
学習意欲、基礎学力向上のための学習指導		
夏期特別指導事業	1,083,000円	
夏休みを利用して、学習会、野外活動等を行い集団の中で、学び力をつけました。		
[社会同和教育学習活動促進費補助金]	6,332,870円	
・地区住民派遣補助金	872,870円	
・集会所運営委員会補助金	510,000円	
・各種団体運営費補助金	4,950,000円	
[一般経費]	20,509,719円	

[成 果]

事業の継続により、地区内活動については、自主自立に向けた各種団体等の計画的な取組みや教養講座の自主的な運営が始まってきました。また、同和問題解消に取り組む住民組織としての同推協活動については、住民自らの手による一層効果的な活動をめざす機運がスタートしました。

目 2 文化振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
457,256,000円	455,745,327円		1,510,673円

心の豊かさを求める時代の中で魅力的な文化環境を整備し、文化行政に対する市民要望に応えるために市民自らの創作活動の場の提供や芸術文化の鑑賞の機会の充実に図るために各種の施策を実施しました。

[文化事業開催費]	12,129,696円
・美術展覧会	3,246,726円
10月14日から18日まで文化会館展示室及び第4ホール	
日本画・洋画・彫塑・工芸・写真・書道6部門、作品数625点、入賞作品84点、観覧者数4,500人	
・市民文化祭等	5,100,000円
6月7日から11年3月7日にかけて文化会館を中心に開催。伝統芸能、舞台発表、作品展示等文芸発表等の多彩な催しを開催(入場者数13,800人)なお、9月26・27日に第33回四日市市北部地区秋の文化祭をあさけプラザにおいて開催し、展示や舞台等の多彩な催しを実施	
・芸術鑑賞会等	3,090,200円
8月27日劇団うりんこ「春一番のおくりもの」(文化会館第2ホール)入場者数 1,111人	
10月30日イッツ・フォーリーズ「おれたちは天使じゃない」(文化会館第2ホール)602人	
三泗子ども劇場を共催し、3月22日ドュー企画「レッドクラウンクラブ」を開催	
・みえ県民文化祭共催事業費	492,770円
第4回みえ県民文化祭の部門別フェスティバルとして平成10年11月1日に文化会館第1ホールにおいて「吟詠剣詩舞道祭」を開催(入場者数 1,600人)	
・都市間文化ネットワーク開催事業費	200,000円
名古屋・豊橋・浜松・岐阜・四日市の5都市で構成する都市間ネットワーク研究会の文化事業「5都市郷土芸能祭」を浜松市のアクトシティで8月9日に実施し、市指定無形民俗文化財「御館獅子舞」が参加。また、8月～2月にかけて「舞台芸術ワークショップ」を文化行政担者を対象に実施	

- 〔文化振興育成事業費〕 21,858,835円
- ・文化振興基金積立金 1,360,285円 (その他特財 1,360,285円)
文化振興基金(昭和60年4月設置 本年度末現在高 205,795,148円)
 - ・文化功労者表彰経費 206,550円
学術・芸術その他文化振興に多大な貢献をした3人の方々の栄誉を讃え、功績を顕彰するため表彰式を11月3日に博物館エントランスホールで行い、ヴァイオリンのミニコンサートも併せて実施
 - ・文化振興財団自主事業費補助金 16,000,000円
 - ・文化活動団体育成事業費等 4,292,000円 (その他特財 1,525,000円)
市内の文化団体の指導者や代表者に対して文化活動に対する姿勢や考え方を再認識する機会を提供するため2回の研修会(「地域情報の収集と発信」・「文化資源を活かした地域イベントのありかた」)を開催
- 〔施設管理運営費〕 326,079,207円
- ・文化会館等委託管理費 302,153,502円 (その他特財 100,745,136円)
文化会館と茶室「泗翠庵」の適正な運営と維持を図るため、四日市市文化振興財団へ管理を委託
 - ・文化会館等一般経費 23,925,705円
- 〔茶会開催経費〕 691,985円 (その他特財 691,985円)
- 泗翠庵開館5周年記念事業として、より広く市民の方々にアピールするために、実行委員会を組織して10月31日と11月1日に茶会を開催(本席は593人・野点席725人)
- 〔文化会館施設整備事業〕 94,888,342円
- ・第2ホール音響設備改修

事業内容	実施額	うち特定財源	
第2ホール音響設備改修	94,888,342円	市債	66,700,000円

〔一般経費〕 97,262円

文化会館施設利用状況

施設名	開館日数(A)	利用日数(B)	利用件数	利用率 B/A×100
第1ホール	270日	209日	160件	77.4%
第2ホール	244	213	201	87.3
第3ホール	313	286	410	91.4
第4ホール	316	307	711	97.2
第1展示室	314	210	86	66.9
第3展示室	315	236	95	74.9
第4展示室	316	206	71	65.2
第1会議室	316	242	326	76.6
第2会議室	316	313	629	99.1
第3会議室	316	306	558	96.8
和会議室	316	291	493	92.1
第1リハーサル室	316	305	543	96.5
第2リハーサル室	316	307	567	97.2
第1練習室	314	279	439	88.9
第2練習室	315	297	524	94.3
第3練習室	316	301	497	95.3

催物

区 分	洋楽	邦楽	歌謡	軽音楽	洋舞	日舞	演劇	演芸	芸能	映画	講演	式典	複合	その他
第1ホール	11	0	18	22	6	3	29	5	2	6	25	17	12	4
第2ホール	22	8	3	26	3	13	13	1	2	22	48	22	12	6

茶室「泗翠庵」(施設別利用状況)

区 分	広間及び次の間	小 間	計	利用人員	立礼席利用人員	使用料収入
利用件数(件) A	86	38	117	延 4,681人	延 6,431人	648,530円
利用日数(日) B	78	41	—			
開館日数(日) C	307	307	—			
利用率(%) B/C	25.4	12.4	—			

目3 青少年教育費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
41,905,000円	39,932,935円		1,972,065円

地域や家庭など子どもを取り巻く育成環境の充実が求められるなか、留守家庭児童対策としての学童保育所補助事業や、子どもの遊び場を提供する子ども広場整備事業などを通して、時代に即した育成環境の充実を図りました。

〔委員報酬〕	273,900円
・青少年問題協議会委員 16人	91,300円
・少年センター運営協議会委員 16人	182,600円
〔家庭教育振興事業費〕	2,199,990円
・家庭教育講演会開催費	559,990円
・家庭教育講座委託事業等	1,640,000円
〔青少年相談事業費〕	455,140円
〔青少年育成研修費〕	1,940,132円
ジュニア・サブリーダー養成事業	712,184円
県外体験学習事業	1,145,438円
青少年指導者合同研修会	82,510円
〔青少年健全育成事業費〕	21,692,150円
・優良少年団体表彰経費	47,040円
・子ども緊急避難所設置推進事業費	1,258,950円
・学童保育事業費補助金	11,430,000円
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平、対象児童 256人	
・青少年健全育成施設整備費補助金	8,377,000円
新設1カ所・補修47カ所・増設6カ所・危険防止3カ所	
・青少年健全育成強調月間事業費	579,160円
子どもフォーラム他	
〔補助金〕	7,965,000円
・四日市市子供育成者連絡協議会	2,700,000円
・四日市市青少年育成市民会議	1,755,000円
・地区青少年育成推進団体	3,150,000円
・四日市海洋少年団	180,000円
・B・S、G・S四日市地区協議会等	180,000円
〔負担金〕	121,000円
・三泗地区広域補導協議会等	100,000円

・三重県青少年補導センター連絡協議会等 21,000円
 [一般経費] 5,285,623円 (県支出金 800,000円)

[青少年の補導]

補 導 少 年 延 人 数					少 年 相 談 件 数		
小学生	中学生	高校生	その他	計	面 接	電 話	計
332人 (25.6%)	435人 (33.5%)	258人 (19.9%)	272人 (21.0%)	1,297人 (100%)	件 28	件 93	件 121

[成 果]

心豊かでたくましい青少年の育成を主眼として、青少年育成団体への活動支援と同時に育成者・指導者の養成に努めました。また、人格形成の根幹である家庭教育の推進を図るとともに非行防止のための啓発活動等、問題行動の未然防止や早期発見に努めました。環境浄化活動については、青少年に有害な図書自販機の調査、電話ボックス内の有害広告物の撤去等を実施しました。

目 4 公民館費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
22,065,000円	20,488,037円		1,576,963円

地域における社会教育活動は、地域社会づくり及び生涯学習推進の視点から、23の地区市民センターを拠点として、住民の暮らしや地域に根ざした学習と併せて、地域における関係団体の育成を図り、よりよい地域社会づくりに努めました。

[生涯学習振興事業費] 16,283,929円

地区市民センター事業活動状況

講座	回数	参加人数	講座	回数	参加人数	講 座	回 数	参加人数
青少年	108	5,705	文 化	125	4,072	サークル活動	23,684	291,531
女 性	110	2,535	同和教育	47	3,148	団体活動 1	1,604	136,183
成 人	80	1,591	スポ・レク	55	2,045	団体活動 2	797	19,201
高齢者	86	4,200	そ の 他	159	5,313	地域振興活動 3	1,027	109,468
家庭教育	98	3,987	小 計	868	32,596	合 計	27,980	588,979

1-社協、同推協、婦人会、老人クラブなど 2-左記団体の総会、役員会など

3-自治会

[学校開放事業費] 1,445,092円

学校開放鍵管理補助 1,439,092円

学校開放運営委託料 6,000円

[負担金] 248,600円

・三重県公民館連絡協議会負担金等

[一般経費] 2,510,416円

[成 果]

生活課題や地域課題に基づいた学習機会の提供など、多様な学習機会の提供により、地域住民の生涯学習の推進および地域社会づくり活動の支援を図りました。

目 5 図書館費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
142,645,000円	142,072,552円		572,448円

市民の文化生活の向上に資するため、資料の収集整備と図書館サービスの質的向上を図り、生涯学習時代にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めました。また、施設・設備の改修等、適正な維持管理を行い、効果的な予算の執行に努めました。

〔委員報酬〕 58,100円

・図書館協議会委員 8人

〔図書資料整備費〕 40,565,784円

図 書 区 分	9年度末蔵書冊数	受 入 冊 数	払 出 冊 数	10年度末蔵書冊数	
成 人 図 書	195,011	13,751	13,275	195,487	
児 童 用 図 書	53,361	3,012	1,927	54,446	
児 童 紙 芝 居	1,180	124	99	1,205	
点 字 資 料	(1,105タイトル) 3,676	(143タイトル) 596	0	(1,248タイトル) 4,272	
録 音 資 料	(2,808タイトル) 11,074	(157タイトル) 601	(232タイトル) 961	(2,733タイトル) 10,714	
特 許 製 本	5,390	0	0	5,390	
計	269,692	18,084	16,262	271,514	
移 動 図 書 館	成 人 図 書	31,197	2,628	3,938	29,887
	児 童 用 図 書	14,308	924	715	14,517
	児 童 紙 芝 居	922	8	69	861
	計	46,427	3,560	4,722	45,265
合 計	316,119	21,644	20,984	316,779	

〔同和問題啓発拠点推進事業費〕 1,964,527円

同和問題に関する図書・史(資)料の収集・整備に努めるとともに、同和問題関係図書を教育集会所及び市民会館へ配本しました。

〔施設管理運営費〕 56,799,480円

多様化する市民ニーズに対応するため、開館時間を従来の木・金曜日に加え、平成10年7月から火・水曜日についても午後7時まで延長しました。(土・日・祝日は午後5時閉館)

〔図書管理システム整備事業費〕 27,603,502円

あさけプラザ図書館及び環境学習センターとのオンラインの一層の実効を図り、利便性の向上に努めました。

〔施設整備事業費〕 3,391,899円

図書館施設の整備・改修等により利用者サービスの向上に努めました。

〔移動図書館整備事業費〕 11,478,260円

移動図書館車2台のうち、「みなと号」を更新しました。

〔負担金〕 211,000円

・日本図書館協会等

〔成 果〕

効率的かつ効果的な蔵書構成を図り、利用者サービスの向上に努めました。不用図書については図書館3階に「リサイクル図書コーナー」を常設し、5,108冊を無償譲渡するなど有効活用を図りました。

〔利用状況〕

	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成9年度	274	232,545	62,782	113,595	583,507	12,716
平成10年度	275	243,063	63,849	124,465	630,761	16,667

目6 少年自然の家費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,874,000円	63,667,895円		206,105円

少年自然の家は、豊かな自然の中で、集団宿泊活動、野外活動、自然・環境学習活動芸術活動等の様々な体験を通して、問題解決能力、豊かな人間性、たくましい体力を身に付けた青少年を育成するため、次のような事業を実施しました。

〔委員報酬〕

・少年自然の家運営協議会委員 9人 141,100円

〔主催事業費〕

・主催事業4種14回の開催 3,404,861円
小中学生を対象とした事業 5回

ゴリラ山アウトドアスクール春	小学5・6年生 88人	5/9～10	登山, 野外炊事等
ゴリラ山アウトドアスクール秋	小学5・6年生 88人	10/24～25	登山, 野外炊事等
'98 ワイルドキャンプ	小学6～中学生 62人	7/28～31	住みか作り・愛知川探検等
宮妻峡アウトドアスクール	小学4・5年 69人	8/20～21	宮妻峡ハイク・テント泊等
ウィンターフェスタ	小学5・6年 92人	12/24～25	野外観察・野外炊事等

家族を対象とした事業 4回

「春の野山に飛び出せ！」	市内在住 20家族68人	4/25～26	自然観察ハイク・創作活動
「森の中でのテント泊体験」	市内在住 20家族58人	6/13～14	テント泊・魚つかみ等
「秋のさわやかな風の中で」	市内在住 3世代中止	10/17～18	紙すきによる年賀作り等
「新春のひとときをファミリーで」	市内在住 20家族43人	1/23～24	もちつき・宝探し等

広く一般を対象とした事業 2回

自然塾「草木染め」	小学5年～大人 58人	7/4～5	草木染め
自然塾「紅葉の渓谷トレッキング」	小学5年～大人 25人	11/1日帰	愛知川 紅葉トレッキング

指導者を対象とした事業 3回

アウトドアセミナー①	高校生～一般 12人	4/18	雲母峰登山・炊事实習等
アウトドアセミナー②	高校生～一般 19人	5/30～31	入道登山・創作活動等
アウトドアセミナー③	高校生～一般 中止	8/29～30	テント泊・炊事实習等

〔施設管理運営費〕

55,695,359円 (その他特財 11,934,710円)

利用状況

施設 年度	自然の家・センター		キャンプ場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
平成7年度	202	17,265	27	2,012	229	19,277	16,048	3,229
平成8年度	211	17,176	23	1,743	234	18,919	15,863	3,056
平成9年度	228	18,413	23	1,743	251	20,156	16,582	3,574
平成10年度	180	15,410	43	3,229	223	18,639	15,322	3,317

〔水沢市民広場管理運営費〕

4,386,575円

市民広場の芝生・樹木の維持管理、トイレの清掃及び広場清掃等の委託業務により、市民の誰もが快適にいつでも利用できる状態を維持できました。

〔負担金〕 40,000円

・全国少年自然の家連絡協議会等

〔成果〕

主催事業について事業実施後の参加者の感想は好評で、自然の中での体験活動が、自然環境の大切さを再認識したり、個人と自然とのかかわり方を見詰めさせたりする契機になりました。また、自分自身を発見することの一助になり、生涯教育の振興を図ることができました。

衛生面や利用者の安全面を考え、委託業務を導入することで快適に活動することができました。また、築後10年を経過し、設備の老朽化が出始めていますが、適宜機器を交換することで、順調に受入れ業務を進めることができました。

目7 博物館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
327,557,000円	320,827,265円		6,729,735円

貴重な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、市民文化の創造に寄与する生涯学習の場として施設の運営を行いました。また、幅広い層の市民の方々に親しまれる施設として、併設するプラネタリウムにおいては、天文知識の普及と啓発に努めました。

〔委員報酬〕 356,900円

・博物館協議会委員 18人

〔自主事業費〕 175,608,929円

・調査研究事業費 2,773,321円

北勢地方祭礼行事・県内自然資料・次年度以降企画展等調査及び「研究紀要」第6号の発行を行いました。

・特別展等開催費 90,928,152円（その他特財 18,538,996円）

展覧会名等	実施額	会期	観覧者数
生命史20億年 －ヒトのルーツをさぐる－	16,475,043	4/10～5/31	8,178人
暮らしの中の木の椅子展	7,481,904	6/7～6/30	4,045人
発明王 エジソン展	15,280,764	7/5～8/31	10,209人
マリア・テレジア 古伊万里コレクション展	16,221,467	9/5～10/4	5,069人
'98 イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展	9,613,856	10/9～11/17	9,315人
国立博物館美術館巡回展 日本の美～縄文から江戸まで	12,853,051	12/13～1/18	6,540人
萬古～流行と不易の焼物	5,403,461	2/11～3/28	5,086人
次年度事業（浮世絵展等）等	7,598,606		
計	90,928,152	249日	48,442人

参考
常設展合計
307日34,411人

- ・資料収集保存事業費 25,361,235円
本市及び北勢地域に関連のある展示・研究資料の収集保存、資料委員会の開催並びに収蔵庫及び展示室の燻蒸を行いました。
- ・教育普及活動事業費 3,098,269円
博物館教室 「入門・考古学」 定員45人受講
「四日市の謎を探る」 定員62人受講
「祭礼図を読む」 定員40人受講
月例土曜講演会 12回 980人受講
各展覧会ごとの講演会等 計40回開催 1,556人参加
解説ボランティア 登録者 130人
三重県移動博物館への出陳
- ・プラネタリウム運営事業費 52,842,616円 (その他特財 7,142,725円)
一般投映季節番組

内 容	期 間
春の星座解説と「流れ星とほうき星」	3/15～ 6/14
夏の星座解説と「ウルトラマン」	6/21～ 9/13
秋の星座解説と「ビッグバン」	9/20～ 12/ 6
冬の星座解説と「冬馬くんの星めぐり」	12/13～ 3/14

投映回数合計 1,054回
観覧者数合計 32,937人

学習投映番組(学校園団体利用)

特別番組 外部講師による解説投映、 星空生演奏コンサート、
星空CDコンサート、 春休み幼児向け番組

観望会 流星群観望会

天文教室 親子星空教室、 子供天文教室

展示会 天体写真展

- ・移動天文車運営事業費 605,336円
「きらら号」稼働状況 申込83件、出勤50回(天文教室含む)、4,543人参加
天文指導員(ボランティア) 登録者 48人

[施設管理運営費] 144,753,196円 (その他特財 2,689,846円)

[負担金] 108,240円

日本博物館協会等

[成 果]

特別展等の企画展示については、多種多様な内容で市民の幅広い知的欲求等に応えるように努めました。観覧者数は、前年度に比べて倍増(約24,000人増)、常設展も約1.6倍(約13,000人増)増えました。プラネタリウムについても、市民に親しみやすい番組内容を企画し、約1.2倍(約5,000人増)増加しました。

展覧会の解説ボランティアと移動天文車の天文指導員については、新規養成講座を開いてその登録者を増やし、古文書解読のサークルと併せてボランティアの充実を図り、館運営の面で協力を得るとともに、その活動の場として、より良い学習機会を提供することができました。

項 6 保健体育費
目 1 保健体育総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
149,653,000円	148,623,841円		1,029,159円

〔委員報酬〕		91,300円
・スポーツ振興審議会委員 11人		
〔一般職給〕	14人	135,574,605円
〔嘱託職給〕	4人	12,461,046円
〔一般経費〕		496,890円

目 2 体育振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
67,007,000円	66,528,589円		478,411円

スポーツは健全な日常生活を営むためになくしてはならないものであり、その市民意識の高まりによるスポーツ人口増加に対応するため、本年度も体育振興の重点をスポーツ活動の日常化に置き、各種スポーツ教室・大会を開催するとともに、各地区に体育指導委員を配置し地域のスポーツ組織の育成及びニュースポーツの普及を行い、生涯スポーツの振興に努めました。

〔スポーツ振興事業費〕	17,523,545円	
・地域スポーツ活動振興事業費		
18教室、3講習会、25大会等開催 参加人員 8,115人	11,292,711円	〔 県支出金 865,300円 その他特財 3,312,350円 〕
・少年スポーツ活動振興事業費		
7教室、4講習会、8大会等開催 参加人員 4,220人	4,827,999円	〔 県支出金 1,679,700円 その他特財 598,900円 〕
・体力づくり市民大会開催事業費		
10/10 四日市ドーム等で開催 参加人員 5,000人	1,071,077円	
・スポーツ功労者表彰経費	331,758円	
本市のスポーツ振興に貢献されたスポーツ功労者1人、奨励者6人1団体を表彰しました。		
〔四日市ドーム振興事業費〕	331,590円	
〔学校開放事業費〕	14,697,184円	（その他特財 1,472,400円）
市内の小学校39校、中学校21校の体育施設を開放しました。		
〔補助金〕	27,375,980円	
スポーツの振興を図るため、各種団体補助金、スポーツ奨励金等を次のとおり支出しました。		
・四日市市体育協会	4,428,000円	
・三重県中学校体育連盟三泗支部	7,635,000円	
・四日市市レクリエーション協会	404,000円	
・四日市市スポーツ少年団	630,000円	
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円	
・国民体育大会出場選手激励金等	9,699,980円	
・全国大会等開催費	450,000円	
・少年スポーツ交流大会開催費	194,000円	
・地域スポーツ振興事業費	1,080,000円	
・スポーツ指導員派遣事業費	322,500円	
・地区運動広場整備事業費	262,500円	
・四日市ドームイベント開催費	2,000,000円	
〔負担金〕	1,003,939円	
・三重県体育協会等		
〔一般経費〕	5,596,351円	

〔成 果〕

多くの市民の方が気軽にスポーツに親しめるよう、四日市ドームにおいてニュースポーツを体験できる市民開放事業を開催したところ、2日間で約6,000人の参加がありました。また、各種スポーツ教室等を開催した結果、四日市シニアテニス協会や、四日市グラウンドゴルフ協会といった高齢者を中心としたスポーツ組織が誕生しました。

目 3 体育施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
631,248,000円	601,726,208円		29,521,792円

霞ヶ浦プールのリニューアルオープンに向けて、25・50mプール塗装改修等工事、機械室動力幹線ケーブル張り替え工事を行いリフレッシュし、新築の管理棟には必要備品等の購入を行いました。

中央緑地陸上競技場は、第2種公認継続のために競技場改修工事及び、写真判定塔設置等工事や写真判定装置の購入を行い、施設の整備に努めました。また、市営運動施設が、市民に良好かつ安全に利用していただけるよう日常の維持管理に努めました。

〔四日市ドーム管理運営費〕	105,315,172円	(その他特財 41,295,555円)
〔運動施設管理運営費〕	268,786,375円	
・中央緑地運動施設等管理委託費	106,033,168円	
・一般経費	162,753,207円	(その他特財 69,042,345円)
〔運動施設整備事業費〕	59,964,864円	
・霞ヶ浦プール	16,292,813円	
・霞ヶ浦緑地運動施設	3,864,000円	
・中央緑地運動施設	29,850,261円	
・その他運動施設	9,957,790円	
〔中央緑地陸上競技場整備事業費〕	167,581,797円	

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
競 技 場 改 修 工 事	120,477,000		
写 真 判 定 塔 設 置 工 事	29,925,000	市 債	24,800,000
写 真 判 定 塔 設 置 に 伴 う 関 連 工 事	1,210,650		
写 真 判 定 装 置	13,440,000		
そ の 他 備 品	2,529,147		
合 計	167,581,797		24,800,000

〔負担金〕	78,000円
・三重県体育施設協会	15,000円
・全国展示場連絡協議会	63,000円

〔成 果〕

霞ヶ浦プールは、新たに流水プールを導入するとともに幼児プールを増設したことにより、遊びながら水に親しめる施設として大勢の市民に利用されました。また、陸上競技場の改修工事では新たに写真判定装置の導入により、県下でも屈指の施設として生まれ変わり好評を得ています。

四日市ドームにおいては、景気低迷の影響を受け、集客力のある大規模イベント数が減少傾向にある中で、2月末に行われたジャパンフラワーフェスティバルでは3日間で入場者数が11万人を超え、市内外を問わず多くの人々に利用されました。